

非財務目標「DX アセスメントレベル」を前倒しで達成

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:久井 大樹/以下、当社)は、2023~2025 年度中期経営計画(以下、2025 中計)において、非財務目標の一つとして掲げる「DX アセスメント『スタンダード』レベル以上の人材比率 80%以上」について、本年度に実施したDX アセスメントにて同比率が 85%となり、前倒しで目標を達成しました。

当社は、ステークホルダーへの価値創出において非財務資本の蓄積に注力しており、「人的資本」については、戦略実現に資する人材を育成・確保し、人材ポートフォリオを充足することをめざしています。そのなかでも、デジタル人材の育成は、10 年後のありたい姿の実現に向けた重要なテーマであり、DX 人材の育成とDX 人材を起点としたDX への取り組みを進めてきました。

当社のDX は「顧客起点」と「未来志向」でデータとデジタル技術を活用し、顧客価値の“新たな創造”や“質的向上”を実現することをめざしており、DX 人材の育成は、その実現に向けた「土台づくり」として位置付けられています。

DX 人材の育成の取り組みにおいては、全役職員を対象としたDX アセスメントの実施により、社員のリテラシーレベルを可視化しています。DX リテラシーレベルは、当社独自基準にて、「エキスパート」「スタンダード」「ビギナー」の 3 カテゴリに分類し、社員に求めるリテラシーレベルを「スタンダード」以上としています。

「スタンダード」以上の人材比率は、初回のアセスメントであった 2022 年度は 24%でしたが、同年度以降に開始したeラーニングや研修などのさまざまな施策を実施した効果により、2023 年度は 46%、2024 年度は 85%と年を追って上昇し、非財務目標の一つを前倒しで達成できました。

今後は、役職員のDX リテラシーの維持と活用機会の提供を図りつつ、データ・デジタルの活用やデジタルによる新事業開発など、成果創出に向けた取り組みを加速します。

また、DX 推進をリードする人材類型および求められるスキルを策定、アセスメントの結果にもとづき、各類型に親和性の高い人材に対し、専門の養成プログラムや人事異動を含む実践機会の提供を行うことで、DX 推進人材を育成し、企業価値の向上を図ります。

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、“未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター”を「10年後のありたい姿」に掲げ、その実現にむけて、ファイナンスに加え、有形無形のアセットの潜在価値を最大限に引き出しつつ、それらを活用したサービスや事業経営などに取り組むことで、「ビジネスモデルの進化、積層化」を進めていきます。

わたしたちは、絶えず変化する社会やお客さまのニーズに応えるべく、地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、明るく希望に満ちた未来社会、豊かな暮らしの実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以上